

第2回 防府市まち・ひと・しごと創生推進専門会議 議事録等

■開催日時・場所

平成28年11月21日（月）午前10時00分から11時30分まで
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

1. 開 会
2. 議 事
(1) 総合戦略関連事業の取組状況について
(2) 総合戦略の改訂について
3. 閉 会

■配布資料

	資料名	番号
1.	総合戦略関連事業の取組状況	【資料1】
2.	防府市における合計特殊出生率と出生数の関係について	【資料1-1】
3.	社会増減（転入数・転出数）について	【資料1-2】
4.	地方創生推進交付金について	【資料2】
5.	防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂のポイント	【資料3】
6.	「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（改訂版・案）	【資料4】

■会議風景



■出席者名簿

敬称略・順不同

	分野	所属団体・役職	名前	出欠
委員	産業	防府商工会議所 専務理事	徳永 雄	出席
		防府市農業委員会 会長	藤井 伸昌	出席
		一般社団法人防府市観光協会 副会長	鈴木 宏明	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所長付 部長	田中 洋一	出席
		西日本旅客鉄道株式会社 防府駅長	岡田 裕哉	出席
	行政	防府公共職業安定所 所長	柴野 毅	出席
		山口県民局 局長	金子 大	出席
	教育	山口大学 大学院技術経営研究科 教授	稲葉 和也	出席
		山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科 准教授	倉田 研治	出席
		山口短期大学 児童教育学科 准教授	手島 史子	欠席
		山口県立防府商工高等学校 教諭	黒川 康生	欠席
	金融	山口銀行 防府支店長	中野 浩幸	出席
		東山口信用金庫 本店長	内藤 利彦 (代理)柴崎 浩一	代理 出席
	労働	連合山口県央地域協議会 委員	山根 浩二	欠席
	言論	山口放送株式会社 ラジオ局長	黒瀬 哲成	出席
	住民	特定非営利活動法人 コミュニティ友志会 代表理事	松永 朋子	欠席
		防府市PTA連合会 父親母親委員会	細野 美幸	欠席
		防府市自治会連合会 女性理事	石竹 和歌子	欠席
	事務局	総合政策部 部長	平生 光雄	
		総合政策部 部次長	伊豆 利裕	
総合政策部総合政策課 課長		白井 智浩		
総合政策部総合政策課地域創生総合戦略室 室長		齊藤 忍		
総合政策部総合政策課 課長補佐		田村 裕之		
総合政策部総合政策課地域創生総合戦略室 主任		田中 陽一		

■議事録

1. 開 会

(総合政策部長あいさつ、並びに委員紹介)

2. 会長あいさつ

会 長 | 本日は、防府市まち・ひと・しごと創生推進専門会議の第2回会議となる。
この専門会議の位置付けは、総合戦略の推進にあたり、広く関係者の意見を反映するために設置しているものである。本年度は、実施をする段階であるが、実行してみると計画と食い違うところが出てくる。委員から忌憚のない意見、熱意ある意見をいただき、総合戦略の推進を図りたいので御協力をお願いしたい。

3. 議事

(1) 総合戦略関連事業の取組状況について

(事務局より資料1、資料1-1、資料1-2、資料2を説明)

会 長 | 国の交付金による事業を含めた、総合戦略関連事業の取組状況についての説明であったが、これについて質問等をいただきたい。

A 委 員 | 資料2に記載のある、「(仮称)女性しごと応援テラス」はどこに設置する予定か。

事 務 局 | 未定であるが、イオン防府店を第一候補として調整している。

A 委 員 | 女性の活躍促進のためには、保育所の整備も必要と思うが、防府市の状況はどうか。

事 務 局 | 防府市においては、保育所は概ね充足している状況である。

B 委 員 | 「幸せますブランド」について、野菜などの農産物にも「幸せますブランド」が付いているが、このブランドの位置付けはどうなっているのか。消費者に「幸せます」を伝えるものか、あるいは生産者の「幸せます」を伝えるものか。他のブランドとは何が違うのか、消費者の立場では分からない。

また、ブランドの認定基準はどのようなものか。生産者が責任を持って提供し、消費者に喜んでもらえるシステムを作ってもらえれば変わらと思うがどうか。

事 務 局 | 「幸せますブランド」については、防府商工高等学校の発案で、防府商工会議所が商標化された。総合戦略にも、「“幸せます”のまち防府の創造」を掲げており、防府市としてもこのブランドを発信していきたいと考えている。

C 委 員 | 「幸せます」は、平成24年に防府商工会議所が商標登録申請をして、特許庁から認

定をいただいた。この取組を始めて5年目であり、ようやく認知され始め、少しずつ広まっているところである。認定に際しては、商品開発をするためのブランドということで認定していただいている。ブランドの付いた商品を消費者が購入して、幸せにつながるような商品を開発して欲しいと考えている。生産者の方にとっては、このブランドを用いることで、より売れて生産者にも「幸せます」が巡ってくれば、ブランドを使う価値があるのではないかと感じている。

商工会議所では、「幸せます」が持つ語感をまちのイメージアップにつなげたいという戦略があり、加えて、商品の価値が「幸せます」に通じるものかどうかで審査し、商品化していただいている。

会 長 | 農業分野におけるブランド活用についてはどうか。

B 委 員 | 消費者の立場で考えると、ブランドを付与した商品と通常の朝市で販売している商品との違いが分からない。例えば無農薬栽培など、消費者のためになるものをブランド認定の審査項目にしていただきたい。また、防府市以外で生産された農産物もブランドとして販売されている。できれば、地産地消のものをブランドにしていきたい。

C 委 員 | 商工会議所では、生産だけでなく、販売、サービスにもブランドを認定している。流通業者の場合には、防府に本店、支店があれば認定しているが、商品の仕入先などについては、業者に委ねている。また、認定基準については、米や野菜の品質にノウハウを持っていない。申請した事業者が商品の品質管理をしっかりとした上で、消費者に「幸せます」を提供するという趣旨に対して基準を設けて審査をしている。

会 長 | 「ブランド」の本来の意義として、他とは違う質の高さがある。ブランドを推進することは良いことであるが、この点も今後の検討項目としていただきたい。

副 会 長 | 生産品の品質はもちろんだが、販売やサービスの質について、どこまで高くするかが問題と思う。あまり高くし過ぎても、地域活性化につながらないので、うまく調整する必要があると思う。

D 委 員 | 「観光まちづくり体制」づくりについて、資料では取組状況があまり見えてこない。市はどのように取り組んでいるのか大きな枠組みを教えて欲しい。また、食のブランド化など、防府市の認知度を上げていくため、その根底にある基本的な考え方を教えて欲しい。

事 務 局 | 食のブランド力向上については、国の交付金を活用した、潮彩市場の魅力向上・収益向上の取組の中で、「はも塾」を中心に、鱧を活用した新たなメニューづくりを進めている。また、昨年度、市では新たな観光振興基本計画を策定しており、この計画に基づき、「観光まちづくりプラットフォーム整備事業」を実施し、観光協会の体制強化を図って

いる。計画には、コンベンション協会化も掲げているが、マンパワーの強化を図っているところである。

また、「観光を活性化して稼ぐ力、雇用を増やす」ことを根底となる基本的な考え方として持っている。防府天満宮を中心とした歴史遺産や、潮彩市場などへの来訪者を増やし、また、明治維新150年も契機としてステップアップをしていきたい。山口市、宇部市、美祢市などの近隣市とも広域連携をして観光客を呼び込みたい。

D 委員 | 新しい事に取り組んでいる姿勢は理解できるが、例えば「美遊感構想」などこれまでの取組についても検証する必要があると感じている。

会長 | 昨年の総合戦略の策定の際には、観光分野ではかなり議論を行っており、積極的に取り組むこととしている。KPIの一つに「認知度ランキング」を掲げており、現在は400位で、目標は50位以内と意欲的な目標であるが、無理な数字ではないと思う。

(2) 総合戦略の改訂について

(事務局より資料3、資料4を説明)

E 委員 | 港の有効活用の観点から、これまでも指摘してきたが、潮彩市場の取組について、充実してきたと感じている。山口県の中央、瀬戸内側に面しており、今後大化けすると思う。市民にも取組を理解してもらえよう示していくことが大切である。

また、幸せますブランドをはじめ、ランチメニューやスイーツなど相当数のものが開発されている。潮彩市場には、例えば富海地区の藍染体験の所要時間を紹介するなど、観光客の所要時間に応じて足を伸ばしてもらい情報発信基地として整備していただきたい。また、防府天満宮なども情報発信力があるので、回遊性のある観光ルートを提案できるようにしていただきたい。

事務局 | 潮彩市場については、本年度キーマン人材として駅長を採用し、駅長を中心に戦略を策定中である。周辺の緑地整備についても、県と調整して進めている。ここを南の観光拠点とするよう部局間が連携して取り組んでいる。観光ルートの提案については、潮彩市場、うめてらすを南と北の観光客の受入拠点にしたい。情報発信については、まだ弱い点があるが、これから策定する戦略に基づいて強化していきたい。

C 委員 | 港湾振興を議論する際、港湾整備は土木部門であるが、賑わい創出となると産業部門になる。港エリアの活性化についてワークショップでアイデアを出したが、県の動きを待つだけで動きがない。アイデアを具現化する、実行部隊を総合政策課が他課をリードして作ってはどうか。

事務局 | 港湾の振興については、現在市長のリーダーシップのもとで取り組んでおり、今後も市長をトップとして意思決定してまいりたい。

- C 委員 | K P Iのうち、「ファミリーサポートセンターの利用件数」について、平成27年度で目標値に達成しているが、改訂しないのはなぜか。
- 事務局 | 利用件数の増加分のうち、相当数が留守家庭児童学級の送迎利用。今年度、留守家庭児童学級の保育時間を延長したことにより、この利用が減ると見込み、今回はK P Iを改訂していない。
- F 委員 | 防府市内にはJ R駅が3駅あるが、市は様々な交通体系を活用することを考えており、J Rとしても交通網の充実のため、協力していきたい。来年春に「トワイライトエクスプレス瑞風」という観光列車を運行するが、インバウンドをはじめ、様々な観光客に防府市をはじめ山口県内の観光地を訪れてもらいたいと思う。
- 副会長 | 防府が観光客にとって、通過地点ではなく、滞在してもらおう場所になるよう取り組む必要がある。
- 会長 | 潮彩市場については、もっと投資する必要があると感じている。他の水産交流施設は大変立派なものが多い。緑地整備の話があったが、もっとハードが必要に感じる。
- B 委員 | 滞在型の観光については、どう考えているのか。
- 事務局 | 宿泊としては弱いところがあるが、少しでも滞在時間を増やすよう取り組んでいる。温泉のある周辺市と連携して、広域的な取組を進めていきたい。
- D 委員 | 防府市のすぐ近くには、湯野温泉もある。行政区画にとらわれなければ、それほど難しい問題ではないと思う。現に、周南市とは観光振興協定を締結している。
- A 委員 | K P Iのうち、「小中学校の授業への外部人材の人数」が飛躍的に伸びているが、なぜか。また、修学旅行など、教育旅行に対するプロモーション活動はどのような状況か。
- 事務局 | 人数が増えたのは、土曜授業へ外部人材に積極的に参画してもらったことによる。なお、修学旅行の誘致については、相当な受入態勢の整備をする必要もあり、現時点では動いていない。
- D 委員 | 西濃運輸のトラックには、「子育てなら大垣市」というステッカーが貼ってある。福山通運のトラックには「好きです！ばらのまち福山」のステッカーが貼ってある。防府市でも地元の企業に「学ぶなら防府市」などのステッカーを貼ってもらってはどうか。
- 事務局 | 「幸せます」も含め、防府市のP Rを民間企業にも御協力いただき実行できればと考えている。

- 会 長 「観光」と「教育」は総合戦略を策定する際にも随分議論をしてきた。「教育に熱心なまち」という点を前面に出していきたい。また、出生率が防府市は比較的高い。ここも売りにできると思う。
- 副 会 長 ソラールの活用について、入館者の目標値を8万人としたのはなぜか。
- 事 務 局 過去には、入館者数7万8千人を記録したことがあり、これを上回る目標を設定した。ソラールの機能強化については、「企業版ふるさと納税」を活用したいと考えているが、寄附をいただける企業について、情報をお寄せいただきたい。
- 副 会 長 ソラールは、企画展の内容次第では、文系の学生でも興味を持つ。また、産学官連携の観点で、アイデアを練る際に、学生の力を使ってみてはどうか。
- E 委 員 潮彩市場への投資については、私も同感である。集客力をつけるためにはある程度の規模が必要。「ここに行けば必ず満足できる」ような供給体制を確保しなければ、やがて顧客に飽きられてしまう。内容、質ともに充実できれば成功すると思う。
- D 委 員 三田尻中関港については、野島航路が三田尻地区、クルーズ船は中関地区と分散している。浚渫などの問題もあるが、一体的な活用ができれば良くなると思う。
- A 委 員 「女性の活躍応援、人材確保支援事業」について、新たに構築する企業認定制度は県の制度と連携したものになると、効率的になると思うので検討いただきたい。
- 事 務 局 認定制度は国が整備しており、県には登録制度がある。国のようにハードルが高くなくと、企業が取り組みやすい内容にしたいと考えている。
- 副 会 長 「(仮称)女性しごと応援テラス」には、認定制度の申請受付や、アドバイザーの派遣など、多くの機能が集約されるのか。
- 事 務 局 「(仮称)女性しごと応援テラス」では、女性の就職に結びつくよう、アドバイザーの配置、カウンセリング、企業の求人情報収集、マッチングなどを行う。認定制度は、企業の人材確保に繋がるよう、別の事業として行う。
- 会 長 本日の質疑はこのあたりで終了したい。防府市での総合戦略の取組は、本格的なスタートは本年度からということだが、この会議による取組内容の検証を踏まえ、PDCAサイクルに沿った推進をお願いしたい。

閉会